

令和元年 小須戸地区 第35回 芸能祭開催

—写真で振り返る芸能祭—

天皇陛下即位パレードが行われた11月10日(日)に、第35回芸能祭が小須戸まちづくりセンターで開催されました。

今年も小須戸幼稚園園児のかわいらしい唄や踊り・手あそびから大正琴、三味線、ギター、ピアノ、コーラス、民謡、演歌、ダンスなど42の多彩な演目を披露し、訪れた観客を魅了しました。

出演された19団体の皆さんが、日頃の練習の成果を十分に発揮されたことから、会場は感動の渦に包まれました。



小須戸フラサークルオーキッド



民謡よつば会



小須戸幼稚園



小須戸音頭甚句保存会



小須戸大正琴愛好会



コールあじさい



三味線和楽



小須戸クラシックギタークラブ



サークルひまわり



もしもピアノの会



レク・あじさい



歌謡ほほえ美会



小須戸民謡愛好会



シャルウィダンスこすど



寿之会



活き生きクラブ



小須戸甚句子供会



フラサークルピカケ



寿美会



フィナーレ「小須戸甚句」

こすど地区公民館報

発行/編集 小須戸地区公民館
〒956-0101
新潟市秋葉区小須戸120番地5
TEL (0250) 25-5715
FAX (0250) 38-5210
E-mail kosudo.co@city.niigata.lg.jp



「にいがたことば」

社会福祉法人白蓮福祉会
ワークセンターほほえみ
五十嵐裕和さん

先日、まちづくりセンターで、小須戸マダムが知人と話しきりに「あれ、おめさん、なんでこんげとこにいるんで、こんげとこにいる」と。『こんげとこ』とはいかがなものでか。心地よくおしゃべりをしていただけたのはこのセンターである。

それに、来たばかりなのに『来なくていい』とは。ふと思いついたのは、祖母の一言。散髪をした私に「まあ、いとしいになつたこと」と笑いながら、『にあつてるよ』と言われているのか、バカにされているのか。何気ない一言にイライラしたものだ。まあ、素直じゃない。

「おはよう。会えてうれしいわ。どうしてこちらに」となぜ言えない。なんとなくだが今ならわかる気がする。照れ隠しに言った言葉も「わかってくれるでしょ」と、相手への期待が込められていることを。にいがたのことばは難しい。まだまだ初心者だ。



小須戸・矢代田小学校で「子育て学習出前講座」が行われました



「子育てを『大変』だと思わずに、『貴重な体験』だと思えば、親子とも一緒に成長していく楽しさを感じていきましょう!」と呼び掛ける松葉先生

10月31日(木)に来年度矢代田小学校へ入学する新一年生を対象とした就学時健康診断が行われました。同時進行で、保護者向けの「子育て学習出前講座」も行われました。

講師の松葉俊枝先生(新潟市芸術創造村・国際青少年センター)「ゆいほーと館長」からは、「個性に合わせたいきいき子育て」というテーマで講演をしていただきました。

講演の冒頭では、「親ってなんだろ?」と親業30年の成果と後悔より「というサブテーマで、実践に基づく子育てのノウハウが紹介されました。

まず、「他者との付き合いにおいて、親自身がトラブルに学ぶ姿勢をもつことで、失敗は失敗なりに受け止め、失敗の中にある『気づき』を通じて、子どもにトラブルの乗り越え方を教えることができる。」と、ご教示していただきました。

また、「全部を頑張るって百点のお母さんにならなくてもいい。それよりも、私はこれしかできません。至らない部分が多々ありますが、ご支援(お力添え)をよろしくお願いいたします。」と、自然体の付き合いをした方が肩の力を抜いて子育てができる。」と、「先生や親同士の付き合いの中で『恥をかかない』『謝る』『実践すること、円滑なコミュニケーションにつながる。』など、非常にためになるお話が盛りだくさんでした。

参加者の不安や心配が解消されるご講演でした。

なお、小須戸小学校においては11月5日(火)に伊藤充先生(新潟大学教育・学生支援機構 全学教職支援センター 特任教授)よりご講演いただきました。

小須戸雁巻緑地公園で「ターゲットバードゴルフ体験会」が行われました



8月号のこすど地区公民館報で募集をかけていた「ターゲットバードゴルフ体験会」が、9月・10月の毎週水曜日の午前中に小須戸雁巻緑地公園で行われました。

これは、小須戸武道館・体育館の指定管理者である「秋葉区スポーツフィールド運営グループ」の協力のもと、「小須戸地区スポーツ振興会」が主催し、体験を通じて「健康増進・介護予防・健康寿命の引き上げ」に繋がることを目的に実施しました。

ゴルフボールにバドミントンの羽根がついた専用のボールを、専用のウエッジクラブでショットを行います。

飛距離がさほど出ないため、1ホールは3のショットホールで約30〜50メートル。パースのロングホールでも60〜90メートルとコンパクトに設営ができ、傘を逆さにして立てた形や輪を地面に置いたものをホールとします。本格的なゴルフは用具などにお金がかかりますが、用具は主催者が用意しているため、気軽に取り組める生涯スポーツです。

来年度はみなさんも体験してみたいかがでしょうか。

絵本の読み聞かせとお話の語り ~おはなしのせかいへ~ 「クリスマス会」

◆期間 12月21日(土) ◆時間 午前10時半~11時

◆会場 小須戸まちづくりセンター1階保育室 ◆対象 どなたでも ◆申込み 不要



第11回 にいがたボケ1 スリッパ卓球大会

早春の珍スポーツ大会 来てね!

毎年恒例! どなたでもすぐに楽しめる、珍スポーツです! 子どもからシニアまで、どんどんご参加ください!

日時 令和2年3月1日(日) 午前9時~午後4時(予定)
選手開場:8時~ 受付:8時30分~8時50分

会場 小須戸体育館 [新潟市秋葉区横川浜 526-2]

参加資格 小学生以上 とくに卓球を初めてされる方は大歓迎です。


賞品多数! お楽しみ 町民抽選会もあるよ!

※初めて参加される方、興味のある方へ
令和2年1月~2月の間、ボケ1大会の前に練習できます!
★日時 令和2年 1/14(火) 1/28(火)、2/11(火)、2/25(火) 午後7時~9時
★会場 小須戸体育館
★対象 小学生~大人 (小学生は保護者同伴)
★持ち物 内履き タオル 飲み物 (ラケットはお貸しします)
※参加費無料、申し込み不要、当日直接会場へ

公民館事業紹介

参加者大募集!

※申込みチラシは、小須戸地区公民館・小須戸まちづくりセンター・小須戸地区ふれあい会館・小須戸体育館等区内主要施設に設置しております。また、下記のコードからもダウンロード可能です。



競技種目	出場対象
個人Aクラス	卓球大会の出場経験がある人 (女性には各1セット2点のハンディ有り)
個人Bクラス 男子の部・女子の部	卓球大会の出場経験がない人
小学生クラス	小学1年生~6年生
混合ダブルスAクラス	男女ともに卓球大会の出場経験がある人
混合ダブルスBクラス	男女ともに卓球大会の出場経験がない人
親子ラリー	ラリーがどれだけ続くかを競う競技(制限時間は3分)

試合方法: ○セルロイド製のラージボールを使用。
○競技は11本先取3セットマッチで行う。

表彰: 各種目の3位までを表彰する。

参加費: 参加費は1種目高校生以上 500円
小中学生 300円
親子ラリー 1組 500円

※特製ラケットは無料でお貸しします。

主催: にいがたボケ1スリッパ卓球大会実行委員会
共催: 小須戸コミュニティ協議会 山の手コミュニティ協議会
秋葉区スポーツフィールド運営グループ 小須戸地区スポーツ振興会 小須戸地区公民館

申込み: 小須戸武道館 事務室
(秋葉区スポーツフィールド運営グループ)
〒956-0121 新潟市秋葉区横川浜239番地1
TEL・FAX 0250-38-2121

問合せ: 実行委員長 吉田芳夫 TEL 090-7846-5316

申込期限: 令和2年1月31日(金)

【第3回】今昔フェスin小須戸が開催されました (地域のまちおこしに頑張っています)

10月22日(火・祝)即位礼正殿の儀のお祝いムードの中、地域の伝統文化の保存・継承と世代交流を目的とした「小須戸喧嘩太鼓保存会」が主催する「第3回今昔フェスin小須戸」が花と緑のシンボルゾーン「うららこすど」で行われ、太鼓・三味線・樽囃子など音楽や芸能に勤しむ団体の素敵な踊りや演奏で、なごやかな会となりました。



また、当日は子どもたちが運営する「こども食堂」での豚汁やおにぎりの販売。

「ワークセンターほほえみ」による米袋をリサイクルした米(マイ)バッグ等の販売。新之助が当たる「お楽しみ抽選会」がイベントを更に盛り上げていました。



俳句・川柳・短歌募集

題材は自由(お一人一句または一首)。住所、氏名(ペンネーム可)、電話番号を明記し、12月20日(金)までに小須戸地区公民館へ。

短歌

実果てて火照る頬にて出でくれば
風に黄葉の散る夜の街
中学の思い出胸に合唱祭
忘れはしないこの瞬間を
いずれへか夢中にメール打つ孫に
近より難くコーヒー置き去る
無花果を鳥が見付けて穴をあけ
早目に採って甘露煮作る
玉葱の苗を植えつけ腰のぼし
茜の空に百舌の高鳴き

こみけ 玲泉 高橋キヨ 和代 久保みね子 浄栄

川柳

《にっこり》
冬囲い済ませにっこり囲む鍋
名が浮かぬ身振り手振りが類笑まし
会釈してにっこり名前出てこない
言い過ぎて今日も眠れず自己嫌悪

自由吟
稲垣もにっこりカメラ見のがさず
積ん読の灯火親しむ八十三路坂
子の癒ゆる事のみ祈る十三夜
妻亡くし一人しみみ吾亦紅
里芋の親子をほぐす小半日
母よりのかんざしに似て実南天
残る虫いとしみながら草を引く
身に沁むや壱をうばふ大樹伐る
名も知らぬ鳥来る庭や初紅葉
わが町をすっぽり包む朝の霧

吉田松子 馬場綾子 熊倉ひろ紀 丸山久子 佐久間久子 本多玲子 間野えり 風間幸子 吉澤文子 中野太浪


俳句

紺青の遠き山々秋気満つ
わが町をすっぽり包む朝の霧
名も知らぬ鳥来る庭や初紅葉
身に沁むや壱をうばふ大樹伐る
残る虫いとしみながら草を引く
母よりのかんざしに似て実南天
里芋の親子をほぐす小半日
妻亡くし一人しみみ吾亦紅
子の癒ゆる事のみ祈る十三夜
積ん読の灯火親しむ八十三路坂
稲垣もにっこりカメラ見のがさず
冬囲い済ませにっこり囲む鍋
名が浮かぬ身振り手振りが類笑まし
会釈してにっこり名前出てこない
言い過ぎて今日も眠れず自己嫌悪

座談会~子育て環境について考える~

11月23日(土・祝)小須戸まちづくりセンターで、子育て世代の8名の方から参加していただき座談会を行いました。はじめて顔を合わす参加者がほとんどでしたが、お子さん連れの和やかな雰囲気の中、第一部ではコミ協が地域でどんな活動を行っているかを知ってもらい、第二部のグループワークで「子育て環境について考える」をテーマに話しあってもらいました。

小須戸で子育てをして日々感じることを気軽に話してもらい、「子どもが遊ぶ場所が少ない」「子どもたちが遊びながら人間関係作りができる機会が少ない」「親同士の語らいの場がほしい」など率直な意見がたくさん出ました。今後もこれらの意見を参考に、社協・行政・コミ協が協力してより良い子育て環境づくりに取り組んでまいります。



山の手コミュニティ協議会

矢代田駅西口・舟戸公園・ふれあい会館で「冬でも花いっぱい運動」事業を実施しました

昔から小須戸地域は「花と緑のまち小須戸」といわれ花木の生産が盛んな地域です。

花の少ない冬季に保育園児や小学生、地域住民同士が花を植栽する共同作業によって普段希薄になりがちなコミュニケーションを深め、地域の良さや地域住民同士の連携の大切さを再確認する目的で、小須戸地区公民館と連携し、11月12日(火)にパンジーやピオラの植栽作業を実施しました。

当日は、前日から降り続いた雨は止んでいたものの、風が強く肌寒い中、矢代田保育園園児19名、矢代田小学校3年生26名、「花の会」・「花水隊」の皆さん約20名、保育士や小学校の先生も含めると約70名で、パンジーやピオラの花とチューリップの球根をプランターに植える作業を行い、まちの玄関口を明るく色どりしました。




矢代田駅西口での保育園児による植栽作業
ふれあい会館前で小学生による植栽作業

編集委員の つぶやき 11月のある日曜日、防災訓練に参加してみた。この時期は鼻水が出るくらい寒い。盛りたくさんの内容の最後にあつあつの豚汁をふるまわれ、体の芯から暖められた。いろいろなイベントに参加しても自分の体は自分で見守らなくては。(F)